

表7. 平成28年度 修士論文題目

建築学専攻

氏名	指導教員	修士論文題目
天舛 開	高田 光雄教授	復興まちづくりと連携した大規模集団移転における被災者の住宅・生活再建に関する研究 —東日本大震災における岩沼市玉浦西地区を事例に—
天野 直紀	平田 晃久准教授	建築設計における協働と原作者性に関する研究 —北大路プロジェクトの分析を中心として—
荒川 綾	三浦 研教授	行動場面の分析に基づく集団による学びの場のデザインに関する研究 —京都市立洛央小学校ブックワールドの実践を通して—
池内 一成	富島 義幸准教授	泉州地域における煉瓦供給に関する研究
池上 純代	小椋 大輔教授	フィットネスクラブにおける給湯・温水システムの省エネルギーに関する研究
池永 諒	神吉 紀世子教授	京都市における高校生の居場所多様性に関する研究 —京都府立鳥羽高校を対象にしたアンケート調査を通して—
伊田 唯果	金子 佳生教授	スチールチップ補強ポリマーセメントモルタルの乾燥収縮ひび割れ幅評価とその応用
伊藤 祥之	神吉 紀世子教授	大阪府茨木市のスプロール市街地化途上における土地利用・商業分布の関係に関する研究
井上 晴貴	西山 峰広教授	縮小6層RC造建物振動台実験の線材置換モデルによる挙動解析
大村 早紀	林 康裕教授	大垂壁を有する伝統木造軸組架構の耐震性能評価
岡 遼悟	荒木 慶一准教授	心棒架構による超高層鋼構造骨組の振動モード制御に及ぼす局部座屈・破断・破断後再接触の影響
岡崎 祐樹	古阪 秀三教授	建設プロジェクトにおける官民連携手法の分析 —PPP・PFIのメリット・デメリット—
尾崎 邦明	三浦 研教授	退職後の能力活用を目指した新しい産学連携コミュニティの検討 —民間企業と研究者によるアクションリサーチを通して—
梶並 俊彦	原田 和典教授	分光分布を考慮した室内照度計算法と評価法に関する研究
加藤 奨	林 康裕教授	壁増設による大垂壁付き伝統木造軸組架構の補強効果
加藤 遼平	金子 佳生教授	有限要素法を用いた繊維補強鉄骨コンクリート合成構造の損傷評価に関する研究
川本 泰斗	竹脇 出教授	偏心を有する建物の伝達関数に関する感度解析を用いた最適ダンパー配置
清山 陽平	神吉 紀世子教授	京都市伏見区中書島地域における跡形集積の風景に対する来街者評価に関する研究 —現代風景への非修景的アプローチ—
桐谷 龍之介	三浦 研教授	下宿住所履歴の分析に基づく学修環境の変化に関する研究 —桂キャンパス移転を中心として—
黒柳 歩夢	牧 紀男教授	震災復興における建築家が行った活動に関する研究 —阪神淡路大震災と東日本大震災を事例として—
酒井 礁太郎	原田 和典教授	展示施設における人感センサーを用いた空調制御の省エネルギー効果に関する研究
佐藤 克志	牧 紀男教授	地域の記憶継承のための事前復興に関する研究 —和歌山県由良町衣奈を対象として—
佐分 駿	大崎 純教授	エネルギー最小化による釣合い形状解析と裁断図の近似最適化による膜構造の設計法
菖蒲 真生人	林 康裕教授	スキップフロアを有する伝統木造軸組架構の振動特性評価
新本 翔太	倉田 真宏准教授	余震ハザードと建物の変形・床応答に基づく中低層建物の継続使用性と室内被害評価
曾我部 哲人	牧 紀男教授	災害が地域に与える影響の定量的評価方法の研究

高取 伸光	小椋 大輔教授	元町石仏における覆屋内温湿度調整による塩類風化抑制に関する研究
竹内 和巳	高田 光雄教授	歴史的町並みの残る過疎地域における空き家活用支援に関する研究 —岡山県瀬戸内市牛窓地区を対象として—
竹内 萌	三浦 研教授	ユニット型特養における可視分析を通じた見守り空間に関する研究
立石 祐将	石田 泰一郎准教授	照明の相関色温度及びDuvが実空間の視覚的印象に与える影響の検討
谷口 耕一	聲高 裕治准教授	冷間成形角形鋼管柱の局部座屈と破断による劣化挙動の再現モデル
谷口 正輝	竹脇 出教授	高いロバスト性を有する多段免震・連結制振ハイブリッド構造システム
田村 篤	古阪 秀三教授	建築プロジェクトにおける建築主の「ものを決める行為」に関する研究 —施工段階における要因と影響に着目して—
寺嶋 峻正	金子 佳生教授	ヒンジリロケーションを施した鉄筋コンクリート有孔梁の損傷評価に関する研究
徳岡 怜美	林 康裕教授	軸組架構の実態調査結果を踏まえた京町家の耐震性能評価
徳岡 伸亮	小椋 大輔教授	近畿地方住宅における12年間でのエネルギー消費と温熱環境の変化
中曽根 義之	聲高 裕治准教授	高層骨組の下層部を想定した魚骨形骨組の大変形時の崩壊形
中村 景月	田路 貴浩准教授	京都東九条における土地所有と都市化過程
西川 平祐	高田 光雄教授	内部と外部の関係を考慮した環境配慮住宅の設計手法に関する研究 —「平成の京町家」認定住宅の分析を通じて—
西野 博道	倉田 真宏准教授	動ひずみを用いた鋼構造現場接合方式梁端部の塑性化後損傷評価と残存耐力推定 手法の開発
二谷 透	西山 峰広教授	連層配置された方立壁を有するRC造架構の力学性状に関する研究
丹羽 健一郎	平田 晃久准教授	ニッチの形態的特性に関する設計論的研究
橋爪 健人	高橋 大武教授	吸音天井板への通気性導入による吸音特性と遮音性能の変化に関する研究
長谷川 睦乃	富島 義幸准教授	就学前保育施設の建替工事にに関する研究
長谷部 知美	高橋 大武教授	コンサートホールのステージ周壁の形状が音場の物理 指標へ与える影響
秦野 敦史	西山 峰広教授	収縮ひび割れ誘発材として異形鉄筋を用いたRC造連層耐震壁の構造性能
服部 梨紗	辻 聖晃准教授	独立鋼製柱とのダンパー連結による木造住宅の耐震性能向上法
濱嶋 郁望	中島 正愛教授	極大地震動の入力制限をはかる直置き型構造の開発と最大ベースシアと最大変形 評価
早川 小百合	田路 貴浩准教授	未定稿『都市の構築』におけるシャルル=エドゥアール・ジャンヌレの都市デザ イン論
林 和茂	高田 光雄	
福岡 侑里	松島 信一教授	常時微動を用いたリノ盆地の速度構造推定とそれを用いた地震動シミュレーシ ョン
藤森 裕平	竹脇 出教授	部分空間法と逆問題型手法を用いた高層建物のシステム同定

牧川 真央	原田 和典教授	空間の使用実態に基づいた火災感知方法の提案
眞杉 信之	小椋 大輔教授	入浴時の人体生理応答予測 —周辺温熱環境および人体の姿勢変化を考慮した生理応答予測モデルの構築—
松尾 繭子	山岸 常人教授	天沼俊一設計作品とその建設技術者に関する研究
三品 勝大	西山 峰広教授	高軸力を受ける実大および縮小RC造柱の構造性能に配筋詳細が及ぼす影響
美並 浩成	丸山 敬教授	建物群の風圧データベース構築による都市の強風被害リスク評価の高精度化
村田 裕介	三浦 研教授	経路の繋がりに基づく街路空間の構成と歩行者の印象評価に関する研究 —京都市街地における経路選択歩行実験を通して—
村林 生朗	聲高 裕治准教授	スチフナ補剛されたH形断面柱の塑性変形能力の評価
安田 圭佑	竹脇 出教授	地震時弾塑性応答を考慮した建物のInfo-Gapモデルに基づくロバスト性評価法
山口 直人	神吉 紀世子教授	遊び当事者の発想からみた潜在的遊び空間の成立可能性に関する研究 —西陣中央小学校区を対象として—
山室 涼平	林 康裕教授	2016年熊本地震の建物被害調査と被害要因の分析
吉岡 瑞徳	小椋 大輔教授	カッパドキア岩窟教会外壁の劣化とその抑制策に関する研究
吉門 大志	金子 佳生教授	長周期地震時の棟間衝突をモデル化した鉄筋コンクリート架構衝撃実験および有限要素解析に基づく研究
吉田 千尋	大谷 真准教授	高次アンビソニクス再生系における両耳信号の再現精度の数値的検討
好永 恒則	石田 泰一郎准教授	照明光源の分光分布に応じた薄明視下での色の見えの定量的評価
DENG, NISI	古阪 秀三教授	公共建築プロジェクトのマネジメントにおける発注者ニーズの生かし方 —多様な発注・契約方式とマネジメント手法の活用事例を通して—
BAEK, JINA	田路 貴浩准教授	Eup-Seong in Kyeong-Sang-Do in the course of Cho-Seon Dynasty (朝鮮王朝における慶尚道の邑城)
藤本 瞭一	丸山 敬教授	ネットフェンス周辺の気流性状の解明と制御に関する研究
門間 光	山岸 常人教授	京都大学増田研究室設計作品の空間的特質に関する研究
渡辺 育	山岸 常人教授	現代の建築空間に関する歴史哲学的考察 —記憶と複製技術に着目して—
KIM TAEBUM	竹山 聖教授	イアニス・クセナキスの作品におけるダイアグラムに関する研究

表8. 博士学位(平成28年4月～平成29年3月)

建築学専攻

氏名	指導教員	博士論文題目
佐分利 和宏	中島 正愛教授	建築構造物の機能性向上に資するTMD免震機構と鉄骨有孔梁機構の開発
中安 誠明	中島 正愛教授	建築床の鋼製化への提案と遮音性と剛性・耐力の確保
山田 雅之	高田 光雄教授	物品の選定・配置と生活支援ニーズからみた高齢者向け住宅の計画
長嶋 史明	川瀬 博教授	地震動の水平上下スペクトル比を用いた地盤構造同定とその応用に関する研究
吉澤 睦博	中島 正愛教授	地震時における室内被害と人体生理機能変化に基づく建物機能損失
勝二 理智	林 康裕教授	既存杭の健全性を考慮した水平抵抗評価手法に関する研究
南部 恭広	林 康裕教授	伝統木造住宅における構造的特徴の地域性に関する研究
韓 甜	古阪 秀三教授	中国の建築プロジェクトにおける品質確保のしくみに関する研究
田中 由乃	神吉 紀世子教授	チェコ共和国における社会主義時代のプレハブ住宅開発地の居住史集成的再価値化に関する研究
李 成璨	原田 和典教授	区画火災におけるフラッシュオーバー発生限界と可燃物の燃焼拡大に関する研究
金 海梨	高田 光雄教授	韓屋におけるチェ（建物）とマダン（庭）との関係からみた住み方に関する研究
松井 亮夫	西山 峰広教授	コンクリートの収縮メカニズムに基づくRC壁のひび割れ制御に関する研究
田中 学	高橋 大武教授	直交集成板を用いた建築物の居室間遮音性能に関する研究
井上 晋一	高田 光雄教授	要素空間の関係性を考慮した集合住宅の共用空間計画に関する研究
赤澤 隆士	中島 正愛教授	強震動予測の高精度化に資する振幅・位相特性を考慮した地盤増幅特性評価手法の開発
洪 善熙	金子 佳生教授	Prediction of Drying Shrinkage Cracking of Steel Chip Reinforced Polymer Cementitious Composites Considering Bond and Tensile Creep (スチールチップ補強ポリマーセメント系複合材料の付着と引張クリープを考慮した乾燥収縮ひび割れの予測)
李 小華	中島 正愛教授	Evaluation of Earthquake-Induced Local Damage in Steel Moment-Resisting Frames Using Wireless Piezoelectric Strain Sensing (無線圧電ひずみセンシングによる被災鋼構造骨組の局所損傷評価)